

事務事業分析シート（平成22年度）

No1

事務事業名	図書館施設の管理	部課名	教育委員会南千住図書館	課長名	東山 忠史
		担当者名	諫山 由紀子	内線	436
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（22年度）	管理費（01-01-01）				
事務事業の種類	○新規事業（○22年度 ○21年度）		○建設事業	●それ以外の継続事業	
開始年度	○昭和 ○平成	年度	根拠	図書館法、荒川区立図書館条例、荒川区立図書館館則	
終期設定	○有 ●無	年度	法令等		
実施基準	○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準		計画区分	○計画	●非計画
行政評価事業体系	分野	子育て教育都市[Ⅱ]			
	政策	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成[04]			
	施策	図書館サービスの充実[04-13]			
目的	図書館施設の適切な維持管理により、利用者サービスの充実を図る。				
対象者等	図書館利用者				
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の適切な維持管理を行う経費等を計上。 【項目】光熱水費、物品修繕費、電話料、郵便料、テレビ受信料、上下水道配管及び受水槽清掃手数料、有料ゴミ券等 ・建物及び設備に係る保守、維持管理等は専門業者に委託。 【項目】地域館の清掃委託、南千住図書館・ふるさと文化館建物維持管理・警備業務委託、地域館の冷暖房機器保守委託、自家用電気工作物保安等管理業務委託、エレベーター保守委託、自動ドア保守委託、南千住図書館・ふるさと文化館設備保守業務委託、機械警備業務委託ほか 				
経過	<p>平成12年第一回定例会、第二回定例会：図書館のあり方に関する意見要望</p> <p>平成13年度：図書館のあり方に関する庁内検討組織を設置。公共図書館のあり方、区立図書館の現状と課題等について調査、検討。</p> <p>平成14年度：これからの図書館に求められる機能、サービスのあり方等について引続き調査、検討。</p> <p>平成15年第二回定例会：図書館の充実についての意見要望</p> <p>平成15・16年度：中央館の建設等の課題を視野に、引続き「これからの図書館サービスのあり方」について調査検討。</p> <p>平成17年度：先進図書館におけるサービスや機能の調査。「これからの図書館調査懇談会」を設置し、今後の図書館サービスのあり方についての報告を受けた。</p> <p>平成10年 9月11日：南千住図書館の資料貸出手続確認装置稼動</p> <p>平成19年 9月 8日：汐入図書サービスステーション開設</p> <p>平成21年11月14日：冠新道図書サービスステーション開設</p>				
必要性	図書館全体に係る保守・維持管理経費であり、図書館サービスを提供するうえで不可欠である。				
実施方法	<p>（2一部委託） （直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南千住図書館建物維持管理業務委託（株）ケルンビルシステム 21年度 ¥6,486,146 ・南千住図書館設備保守業務委託（株）後藤ビルサービス 21年度 ¥4,572,540 ・南千住図書館エレベーター保守業務委託（中央エレベーター工業株）21年度 ¥1,224,720 ・南千住図書館機械警備業務委託（総合警備保障株）城東支社 21年度 ¥483,840 ・各図書館及び原保育園清掃業務委託（㈲ワールドサービス荒川支店 21年度 ¥6,141,843） ・各図書館冷暖房機器保守委託（株）ケルンビルシステム 21年度 ¥1,407,000 ・地域図書館機械警備業務委託（株）コアズ東京事業本部 21年度 ¥529,200 				

予 算 ・ 決 算 額 等 の 推 移	（単位：千円）							
		16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
予算額		70,728	68,284	67,176	63,647	60,909	60,489	60,652
①決算額（22年度は見込み）		63,218	58,572	57,382	58,619	59,227	54,714	59,130
②人件費			26,959	25,620	16,466	16,121	12,763	
【事務分担量】（%）			320	300	300	290	219	
合計（①+②）		63,218	85,531	83,002	75,085	75,348	67,477	59,130
国（特定財源）		0	0	0	0	0	0	0
都（特定財源）		0	0	0	0	0	0	0
その他（特定財源）		317	311	355	348	383	341	361
一般財源		62,901	85,220	82,647	74,737	74,965	67,136	58,769
実績の推移	事項名	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	入館者数（人）	1,123,777	1,126,719	1,068,982	1,117,360	1,211,614	1,256,398	1,300,000
	個人貸出者数（人）	483,431	515,012	521,504	537,305	586,263	633,555	600,000
	個人総貸出点数（点）	1,667,445	1,675,071	1,672,802	1,703,343	1,818,212	1,927,377	2,000,000
	住基人口（翌年1月1日）	175,726	177,547	178,399	181,205	184,207	186,906	189,000

事務事業分析シート（平成22年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成20年度（決算）		平成21年度（決算）		平成22年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	光熱水費	電気・ガス・水道	27,968	電気・ガス・水道	25,150	電気・ガス・水道	29,069
一般需用費	物品修繕	72	消耗品・物品修繕	262	消耗品・物品修繕	695	
役務費	電話料・地域館受水槽清掃	3,815	電話料・地域館受水槽清掃	3,672	電話料・地域館受水槽清掃	3,989	
委託費	南千図設備保守等業務委託	26,720	南千図設備保守等業務委託	25,383	南千図設備保守等業務委託	26,899	
使用料及び賃借料	資料貸出手続確認装置賃借	383	資料貸出手続確認装置賃借	173			
備品購入費	荒川図書館返却ポスト	164	ブックトラック2台	74			
	尾久図書館雑誌架	105					

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		19年度	20年度	21年度	22年度	目標値 (25年度)	
①	入館者一人当たりの経費 (円)	52	49	44	45	45	経費÷入館者数
②	貸出点数一点当たりの経費 (円)	34	33	28	30	30	経費÷貸出点数
③	区民一人当たり総個人貸出点数 (点)	9.4	9.9	10.3	10.6	11.0	個人総貸出点数÷住基人口

（問題点・課題）	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の老朽化が大きな課題であり、改修や大規模修繕が必要である。 ・ニカ所目の図書サービスステーションの開設による身近な場所での図書館サービスの提供や図書館活動の活性化を図り、入館者を増やすことにより、入館者一人当たりに係るコストの削減を実現する。 ・地域館の老朽化、バリアフリー化に未対応、本をゆったりと読むスペースが少ない等、滞在型の魅力ある読書環境を求める要望が強く、利用者満足度調査でも明らかである。年次計画による改善が必要である。 ・図書館資料の長期未返却や無断持ち出しへの対策が緊要である。
他区の実況	（実施 22 区 未実施 区）

問題点・課題の改善策検討		
	平成23年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
①	冠新道図書サービスステーションの開設	身近な場所での図書館サービスの提供
②	老朽化した地域館の環境整備	利用者の満足度の向上
③	延滞者の貸出停止等の運用の見直しと無断持出対策の強化	資料管理の適正化と区民サービスの公平化

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	推進	区民の学習活動の拠点施設である図書館の環境整備のため、優先度の高い事業である。

議（要質問）旨状況	<p>平成15年二定</p> <p>平成16年三定</p> <p>平成18年一定</p> <p>平成18年二定</p> <p>平成19年二定</p> <p>平成21年一定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・機能を充実した新しい図書館の建設について ・中央図書館の早期設置について ・中央図書館構想の策定について ・新たな子ども図書館の期待と親子で楽しめる読書環境の整備について ・区民施設、教育施設としての中央図書館設置について ・荒川図書館の建替えについて 	<ul style="list-style-type: none"> ・現行の図書館体制の見直しについて
-----------	---	--	---

事務事業分析シート（平成22年度）

No1

事務事業名	図書資料の購入	部課名	教育委員会南千住図書館	課長名	東山 忠史
		担当者名	小菅 建太郎	内線	436
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（22年度）	図書購入費（01-02-01）				
事務事業の種類	新規事業（22年度 21年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	年度	根拠	図書館法、荒川区立図書館館則、荒川区立図書館資料取扱規程、荒川区立図書館資料収集要綱	
終期設定	有 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	子育て教育都市[]			
	政策	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成[04]			
	施策	図書館サービスの充実[04-13]			
目的	図書館を運営する上での基本的要素である図書資料を充実し、生涯学習の支援と生活に役立つ図書館を目指す。				
対象者等	図書館利用者				
内容	<p>図書館資料を購入するための経費を計上する。 図書館サービスの中で最も基本となるものは、区民への資料提供であり、資料の収集内容によって、図書館のサービス内容が決まるともいえる。多様化・高度化するニーズを的確に把握し、積極的に資料を収集し情報を提供している。なお、「これからの図書館調査懇談会」の提言を受け、平成20年度から全館の収集基準を設け、特色ある図書館づくりをすすめている。</p> <p>（資料購入方法）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本については、毎日東京都書店商業組合荒川支部を通し、専門書から一般書まで全分野にわたる図書館向け新刊本の配本がある。 ・毎週火曜日、各館代表者からなる、図書の合同選択会議を開催し、配本された本の内容を確認しながら、図書館資料収集基準に基づき選書を行い、その結果により書店組合に発注を行っている。 				
経過	<ul style="list-style-type: none"> ・平成5年度の図書館オンラインシステムの稼動に合わせて、新刊配本を一カ所とし、合同で選択会議を行う集中発注受入方式を導入した。 ・平成20年度から区立図書館それぞれの地域性に合わせた「特色ある図書館づくり」のため、分担収集を実施している。 				
必要性	利用者の多様化するニーズに的確に対応し、図書館の本質的な機能である資料の提供を担うためには、必要な事業である。				
実施方法	（1直営） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）				

		（単位：千円）						
予算・決算額等の推移		16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
		予算額	71,050	71,050	73,570	78,643	81,108	81,108
	決算額（22年度は見込み）	68,335	66,496	66,196	70,535	74,249	72,549	72,506
	人件費			35,771	36,364	36,140	33,153	
	【事務分担当】（%）			1,055	1,112	1,110	997	
	合計（+）	68,335	66,496	101,967	106,899	110,389	105,702	72,506
	国（特定財源）	0	0	0	0	0	0	0
	都（特定財源）	0	0	0	0	0	0	0
	その他（特定財源）	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	68,335	66,496	101,967	106,899	110,389	105,702	72,506
実績の推移	事項名	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	図書雑誌蔵書冊数(冊)	707,220	700,301	707,449	722,184	730,000	737,769	750,000
	図書雑誌個人貸出冊数(冊)	1,351,568	1,395,858	1,398,843	1,442,500	1,552,870	1,662,058	1,750,000
	図書購入冊数(冊)	36,897	36,149	34,094	34,740	37,057	44,363	40,000
	雑誌購入冊数(冊)	17,422	17,035	16,733	16,807	16,629	16,536	16,500
	住基人口(翌年1月1日)	175,726	177,547	178,399	181,205	184,207	186,906	189,000

事務事業分析シート（平成22年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成20年度（決算）		平成21年度（決算）		平成22年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	一般需用費	一般書・児童書	57,614	一般書・児童書	54,611	一般書・児童書	65,244
	雑誌(611種)	12,682	雑誌(611種)	13,889	雑誌(611種)	11,055	
役務費	新聞(23種)	2,693	新聞(23種)	2,698	新聞(23種)	4,109	
委託料	追録	1,044	追録	1,134	追録	844	
使用料及賃借料	官報	216	官報	216	官報	216	

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		19年度	20年度	21年度	22年度	目標値 (25年度)	
標	区民一人当り蔵書冊数(冊)	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	蔵書冊数 ÷ 住基人口
	区民千人当り図書購入冊数(冊)	192	201	237	232	212	年間購入冊数 ÷ 住基人口千人
	区民一人当り個人貸出冊数(冊)	8.0	8.4	8.8	9.3	9.3	年間貸出冊数 ÷ 住基人口

(問題点・課題分析)	限られた予算の中で、利用者の新刊図書や専門書への要望に応えることは難しい。予約がインターネットでも可能であり、予約数は激増している。平成18年度には資料収集方針を策定し、平成20年度には特色ある蔵書づくりに向けた専門書等の分担収集分野を決めた。一方、施設規模の蔵書容量から蔵書数には限度がある。このため、限られた蔵書数の中でいかに新鮮で魅力ある書架構成を行うか、図書館職員の選書能力の向上及び図書情報と社会情勢に対する日々の研鑽が必要であり、研修等充実させていく。
他区の実況	（ 実施 22 区 未実施 0 区 ）

問題点・課題の改善策検討	
平成23年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
蔵書構成の充実	図書館サービスの向上
ビジネス支援など新たな図書館サービスを支える資料やレファレンス資料の充実	利用者の多様化・専門化するニーズの充足及び図書館サービスの向上
特色ある図書館づくり	地域の特性を生かした専門的蔵書構成で、新たな魅力の醸成

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	推進	図書館サービスの基礎である図書資料の充実を図るため、優先度の高い事業である。

議会議決要旨	
--------	--

事務事業分析シート（平成22年度）

No1

事務事業名	視聴覚サービス	部課名	教育委員会南千住図書館	課長名	東山 忠史												
		担当者名	水野 裕都	内線	436												
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（22年度）	視聴覚費（01-02-02）																
事務事業の種類	新規事業（22年度 21年度）		建設事業	それ以外の継続事業													
開始年度	昭和 平成	37 年度	根拠	図書館法第3条、荒川区立図書館館則第2条													
終期設定	有 無	年度	法令等														
実施基準	法令基準内 都基準内 区独自基準		計画区分	計画	非計画												
行政評価事業体系	分野	子育て教育都市[]															
	政策	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成[04]															
	施策	図書館サービスの充実[04-13]															
目的	図書館において、視聴覚資料を提供し、利用者サービスの充実を図る																
対象者等	図書館利用者																
内容	16ミリ映写機検査（年1回） 視聴覚資料（CD・カセットテープ・DVD・ビデオテープ等）の購入と貸出 各種消耗品の購入（CDケース・CD貸出袋・CD仕切版、16ミリ映写機用消耗品、ビデオテープ消耗品等） 【平成20年度視聴覚資料の貸出数】 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">CD</td> <td style="width: 30%;">231,618</td> <td style="width: 30%;">ビデオテープ</td> <td style="width: 10%;">17,201</td> </tr> <tr> <td>カセットテープ</td> <td>6,898</td> <td>16ミリフィルム</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>DVD</td> <td>9,625</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					CD	231,618	ビデオテープ	17,201	カセットテープ	6,898	16ミリフィルム	102	DVD	9,625		
CD	231,618	ビデオテープ	17,201														
カセットテープ	6,898	16ミリフィルム	102														
DVD	9,625																
経過	昭和45年度から 16ミリフィルムの貸出実施 昭和61年度から CDの貸出実施 昭和63年度から 16ミリ映写機の検定実施 平成10年度から 16ミリ映写機の操作講習会が社会教育課から図書館に移管 平成18年度から 16ミリ映写機の操作講習会を受講者実績の激減により休止 平成18年度から DVDの貸出実施																
必要性	図書館が、図書以外の資料として視聴覚資料を 教育的利用 鑑賞的利用 趣味的利用を目的として提供することは、より多くの利用者サービスの充実を図るため必要である																
実施方法	（1直営） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 16ミリ映写機の検定：区内各施設が所有する映写機について、年1回専門技術者による点検・整備を図書館で実施 CD・DVDの購入にあたり、毎月1回、各図書館の担当者からなる選定会議を開催し、新譜リスト等より選定を行っている																

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	
予算額	11,613	11,260	11,260	10,904	10,756	10,720	9,816	
決算額（22年度は見込み）	11,276	10,083	9,475	8,397	9,448	9,652	8,837	
人件費		11,570	2,424	12,074	12,375	9,197		
【事務分担量】（%）		250	260	270	270	213		
合計（+）	11,276	21,653	11,899	20,471	21,823	18,849	8,837	
国（特定財源）	0	0	0	0	0	0	0	
都（特定財源）	0	0	0	0	0	0	0	
その他（特定財源）	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源	11,276	21,653	11,899	20,471	21,823	18,849	8,837	
実績の推移	事項名	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	16ミリ映写機検定実施台数	71	68	46	43	41	40	40
	視聴覚資料所蔵点数(点)	47,665	47,537	44,605	45,792	46,483	46,610	47,000
	DVD所蔵点数(点)	0	111	280	420	578	726	800
	ビデオ所蔵点数(点)	3,381	3,357	3,302	3,242	3,164	3,111	3,000
	視聴覚資料個人貸出点数(点)	262,053	279,213	273,959	260,843	265,342	265,319	270,000
	住基人口(翌年1月1日)	175,726	177,547	178,399	181,205	184,207	186,906	189,000

事務事業分析シート（平成22年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成20年度（決算）		平成21年度（決算）		平成22年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	報償費	16ミリ映写機検査技師謝礼	39	16ミリ映写機検査技師謝礼	39	16ミリ映写機検査技師謝礼	26
	一般需用費	C D購入	6,023	C D購入	6,811	C D購入	6,638
		カセットテープ購入	90	カセットテープ購入	89	カセットテープ購入	100
		ビデオテープ・DVD購入	2,015	DVD購入	1,679	DVD購入	1,802
		C D貸出袋等消耗品購入等	1,103	C D貸出袋等消耗品購入等	748	C D貸出袋等消耗品購入等	1,145
		ダビング装置修繕	178	物品修繕費	0	物品修繕費	105

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		19年度	20年度	21年度	22年度	目標値 (25年度)	
	DVD蔵書移行率（%）	13.0	18.3	23.3	26.7	30.0	DVD蔵書数 ÷ ビデオ蔵書数
	区民一人当り視聴覚資料個人貸出点数(点)	1.4	1.4	1.4	1.4	2.0	視聴覚資料個人貸出点数 ÷ 住基人口
	区民千人当り視聴覚資料所蔵点数(点)	253	252	249	249	300	視聴覚資料所蔵点数 ÷ 住基人口千人

（問題点・課題 指標分析）	<ul style="list-style-type: none"> ・音響資料は、高齢者を中心にカセットテープの貸出が依然として多いが、新譜はほとんどCDとなり、カセットテープの発売は大きく減少してきている。また、映像資料については、新規発行がビデオテープからDVDに移行してきている。図書館として、視聴覚資料の発行形態の大きな変化や区民ニーズに対応していく必要がある ・団体貸出用である教育用DVD・ビデオや16ミリフィルムなどについては、資料を有効に活用して利用を促進するために、平成22年度から目録データの一部をシステムで利用できるようにした。今後は、未処理の目録データを入力し、全データを活用できるようにすることが必要である。
他区の実況	（実施 22 区 未実施 区）

問題点・課題の改善策検討	
平成23年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
AV資料選択の質の向上	図書館サービスの向上
16ミリフィルムの目録データのシステム化	図書館資料の情報提供と利用の促進

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
継続	継続	図書館サービスの基礎である資料の充実を図るため、必要性が高い。

議（要旨） 況（質問）	
----------------	--

事務事業分析シート（平成22年度）

No1

事務事業名	障がい者サービス	部課名	教育委員会南千住図書館	課長名	東山 忠史
		担当者名	水野 裕都	内線	436
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（22年度）	障がい者サービス費（01-02-03）				
事務事業の種類	新規事業（22年度 21年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	年度	根拠		
終期設定	有 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	子育て教育都市[]			
	政策	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成[04]			
	施策	図書館サービスの充実[04-13]			
目的	視覚障がい者に対する録音図書・点字図書を充実など、障がいのある利用者へのサービス向上に努める				
対象者等	何らかの障がいのため、図書館利用が困難な区民				
内容	<p>【図書資料の宅配サービス】 何らかの障がいにより、図書館への来館が困難な方を対象に、職員が図書資料（本・カセット・CD・ビデオ・DVD）を自宅まで配達する。貸出期間は1カ月。</p> <p>【録音図書の製作と貸出】 利用者からのリクエストや職員が選んだ図書を音声化して作成する。音訳はボランティアに依頼しており、音訳者は読み方の確認、内容の録音、校正を経て完成させる。主に作成する録音図書は小説・エッセイ・実用書である。また、自前で製作できる冊数が限られるため、全国の点字図書館・公共図書館と相互貸借をしている。平成20年度からはデジタイズ図書の作成も始めた。</p> <p>【対面音訳サービス】 目の不自由な方に、対面音訳者が必要な図書資料をその場で読むサービス。</p> <p>【音訳者養成講座の開催】 録音技術の習得と向上を目的とした音訳者養成講座（初級・中級）を実施している。</p> <p>【その他のサービス】 区内の福祉施設（のぞみの会・ひまわり作業所等）への団体貸出の実施。福祉まつりに参加している。</p>				
経過	<p>昭和56年12月 「図書館利用に障がいのある人々へのサービスの基本計画」を策定</p> <p>昭和57年 4月 昭和56年の国際障害者年を契機に障がい者サービス事業を検討し、サービス開始。</p> <p>家庭配本・対面朗読（現在は「対面音訳」）開始</p> <p>昭和58年10月 カセットテープによる録音図書の貸出を開始</p> <p>昭和59年 1月 点字図書作成開始</p> <p>平成18年10月 日本点字図書館は2011年（平成23年）3月末をもってテープ図書貸出終了することを方針決定（デジタイズ図書のみ貸出）</p>				
必要性	何らかの障がいのある方に、より多くの図書館資料を提供するため、必要な事業である。録音図書のデジタイズ化は利便性・耐久性に優れており、利用者のサービス向上にも繋がる事業である。				
実施方法	<p>（1直営） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）</p> <p>点字図書・テープ図書の作成は、ボランティア（養成講座修了者及び受講者）を活用している。</p> <p>音訳者養成講座 初級 3年程継続して受講させて、音訳者としてのレベルアップを図る。</p> <p>中級 初級終了者を対象に音訳者として、より高度の技術の習得を図る。</p>				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	
予算額	2,423	2,326	2,506	2,301	5,039	3,408	3,105	
決算額（22年度は見込み）	2,244	2,158	2,278	2,014	4,303	2,389	2,917	
人件費		4,163	2,424	4,148	5,211	2,094		
【事務分担量】（%）		70	50	70	90	46		
合計（+）	2,244	6,321	4,702	6,162	9,514	4,483	2,917	
国（特定財源）	0	0	0	0	0	0	0	
都（特定財源）	0	0	0	0	0	0	0	
その他（特定財源）	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源	2,244	6,321	4,702	6,162	9,514	4,483	2,917	
実績の推移	事項名	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	宅配サービス実績回数（回）	421	478	520	384	507	707	700
	HS登録者数（人）	115	118	122	120	124	131	135
	HS資料個人貸出点数（点）	1,784	2,223	2,213	2,433	2,400	2,614	2,700

事務事業分析シート（平成22年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成20年度（決算）		平成21年度（決算）		平成22年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
予 算 ・ 決 算 の 内 訳	報償費	音訳者養成講座講師謝礼	280	音訳者養成講座講師謝礼	280	音訳者養成講座講師謝礼	280
		デジター図書編集・校正謝礼	16	デジター図書編集・校正謝礼	193	デジター図書編集・校正謝礼	905
		テープ図書作成校正謝礼	403				
	一般需用費	大活字本	981	大活字本	970	大活字本	1,032
		デジター図書	533	デジター図書	336	デジター図書	530
		その他消耗品	778	その他消耗品	392	その他消耗品	317
	役務費	郵送料	0	郵送料	20	郵送料	20
						その他通信運搬費	21
	委託料	デジター編集講習会	200	デジター編集講習会	200		
	備品購入費	防音室・録音機 他	1,109				
その他	その他旅費等	3					

指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		19年度	20年度	21年度	22年度	目標値 (25年度)	
標	障がい者利用登録者率（％）	5.7	5.8	6.1	6.3	7.0	H S登録者数÷対象者数（肢体不自由及び視覚障がい1・2級手帳保持者）
	デジター図書貸出普及率（％）	3.8	7.8	17.5	19.0	25.0	D A I S Y図書貸出点数÷録音図書貸出点数

（問題点・課題）	<p>利用者がどのようなサービスを図書館に求めているのか等を、各関係機関・関係団体と連携を諮りながら事業を進めていく必要がある。</p> <p>点字図書作成奉仕者及び音訳者の固定化してきている。新しい点訳者及び音訳者の育成をどのように行っていくかが課題である。</p> <p>録音図書は、今後、パソコンやデジタル録音機を使用し作成することとなるため、研修や個別指導を充実させていく必要がある。また、現在、約1,000タイトル所蔵しているカセットテープによる録音図書の内、最終的に何タイトルをデジター化していくかを検討する必要がある。</p> <p>特に高齢の方には、デジター図書再生機という新しい機械の利用に抵抗があると推測されるため、個別に使い方を説明していくなど、きめ細やかにサービスを行う必要がある。</p>
他区の実況	（実施 22 区 未実施 区）

問題点・課題の改善策検討	
平成23年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
障がい者サービス事業の積極的な紹介	図書館利用の促進
録音図書のデジタル化（カセットテープによる製作は廃止）	利便性の向上と資料の効率的な収集及び保存

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
継続	推進	障がい者サービスを充実させるため、必要性が高い。

議（要旨）	
-------	--

事務事業分析シート（平成22年度）

No1

事務事業名	図書館オンラインシステム	部課名	教育委員会南千住図書館	課長名	東山 忠史
		担当者名	小菅 建太郎	内線	436
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（22年度）	図書館オンラインシステム（01-02-04） 図書館オンラインシステム（充実分）（01-02-06）				
事務事業の種類	○ 新規事業（○ 22年度 ○ 21年度）		○ 建設事業		● それ以外の継続事業
開始年度	○ 昭和 ● 平成 5 年度		根拠法令等	荒川区個人情報保護条例、荒川区電子情報システム管理運営規程、荒川区住民基本台帳ネットワークシステム管理運営規程	
終期設定	○ 有 ● 無 年度				
実施基準	○ 法令基準内 ○ 都基準内 ● 区独自基準		計画区分	○ 計画 ● 非計画	
行政評価事業体系	分野	子育て教育都市[Ⅱ]			
	政策	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成[04]			
	施策	図書館サービスの充実[04-13]			
目的	コンピュータシステムを活用することで、図書館の業務（蔵書管理・貸出返却・予約等）の運営を円滑にし、利用者の利便性の向上を図る。				
対象者等	図書館利用者				
内容	<p>図書館コンピュータシステムの運用及びそれに付随する経費を計上する。</p> <p>荒川区立図書館5館（2分室含）をオンラインシステムで結ぶことにより、全資料を所蔵した区立図書館が各地域館にも構築されたことになり、図書館の利用者はどこの館でも貸出し、返却、予約等ができる。また、このオンラインシステムをインターネットとつなぐことで携帯電話や自宅のパソコンからもアクセスすることができ、資料の検索、予約、予約・貸出状況確認、貸出延長手続きなども可能となっている。図書館コンピュータシステムの機器は、サーバ機器6台、端末装置67台、プリンター14台、レシートプリンター50台、ハンディ端末12台等である。現行機器のリースは平成27年3月31日までである。利用者に図書資料を提供するまでの資料選択、発注、受入、回送等の一連業務については、図書館システムによる集中発注処理方式で実施している。図書資料（図書・AV）の書誌データは、電子化された書誌データとしてニッパンマーク、NHKマークを購入し活用している。資料の装備については、一括して業務委託しており、そのためのバーコードや装備用品を購入している。また、受入・予約・返却資料の他館への送付には配本車の委託契約をし、資料の迅速な回送に努めている。</p>				
経過	<p>平成 5年10月 1日 図書館コンピュータシステム3館第一次稼働、集中処理による運用開始</p> <p>平成 6年 6月 1日 図書館コンピュータシステム全館第二次稼働</p> <p>平成10年 5月 1日 新南千住図書館開館（祝日開館実施）</p> <p>平成11年 4月10日 図書館新コンピュータシステム稼働</p> <p>平成13年 7月 7日 インターネットによる資料の検索・予約サービス開始、図書館ホームページ開設</p> <p>平成14年 2月18日 携帯での検索・予約サービス、インターネットによる貸出・予約照会サービス開始</p> <p>平成14年 9月 8日 南千住図書館で無線LANインターネットサービス開始</p> <p>平成15年 7月 1日 全館で無線LANインターネットサービス開始</p> <p>平成16年 4月 1日 図書館新コンピュータシステム稼働。</p> <p>平成16年 4月 3日 パスワード・メールアドレス登録、予約確保時連絡メール自動送信、メール督促開始</p> <p>平成18年 7月14日 全館でノートPCに加えてデスクトップPCによるインターネットサービス開始</p> <p>平成19年 9月 8日 汐入図書サービスステーション開設</p> <p>平成21年 3月 1日 全館で無線LAN規制ソフト導入</p> <p>平成21年 7月 1日 冠新道図書サービスステーション開設</p> <p>平成22年 4月 1日 オンラインシステムリプレイス・HPリニューアル</p>				
必要性	区立図書館資料の管理・貸出等の業務運営はすべて図書館オンラインシステムによるため必要である。				
実施方法	（2一部委託） （直営の場合 ○ 常勤 ○ 非常勤 ○ 臨時職員） 図書・CD・カセットテープ・ビデオテープの装備委託 （東京都書店商業組合荒川支部 21年度 ¥10,401,380）				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	
予算額	57,761	56,034	55,824	55,066	54,101	53,094	50,081	
①決算額（22年度は見込み）	55,802	53,698	53,537	52,903	52,154	51,768	48,077	
②人件費		35,202	34,990	35,045	34,058	34,425		
【事務分担当】（%）		980	945	1,012	1,000	1,084		
合計（①+②）	55,802	88,900	88,527	87,948	86,212	86,193	48,077	
国（特定財源）	0	0	0	0	0	0	0	
都（特定財源）	0	0	0	0	0	0	0	
その他（特定財源）	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源	55,802	88,900	88,527	87,948	86,212	86,193	48,077	
実績の推移	事項名	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	個人登録者数（人）	52,490	51,492	50,422	50,805	51,768	53,769	54,000
	パスワード登録者数（人）	8,856	11,378	12,654	13,893	15,204	16,728	17,000
	予約登録点数（点）	270,553	327,310	352,406	395,266	456,606	500,383	500,000
	WEB予約登録点数（点）	143,815	186,805	216,444	256,988	310,971	351,383	350,000

事務事業分析シート（平成22年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成20年度（決算）		平成21年度（決算）		平成22年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	一般需用費	ニッパンマーク等消耗品	3,183	ニッパンマーク等消耗品	3,037	ニッパンマーク等消耗品	3,964
	バーコード等印刷製本	1,417	バーコード等印刷製本	1,512	バーコード等印刷製本	1,802	
役務費	配本車運行等	6,670	配本車運行等	6,882	配本車運行等	6,497	
委託料	CD・図書等装備委託等	9,956	CD・図書等装備委託等	10,401	CD・図書等装備委託等	10,448	
			オンライン・インターネット用機器等保守	9,188	データ・トリッジ等消耗品	1,004	
			新規システム運行準備委託等	17,850	光専用回線使用料	4,303	
使用料及賃借料	オンライン・インターネット用機器賃借料	30,928	オンライン・インターネット用機器賃借料	1,950	オンライン・インターネット用機器等保守	8,747	
					オンライン・インターネット用機器賃借料	12,400	
			新規システム運行準備機器賃借料	948	工事請負費	916	

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		19年度	20年度	21年度	22年度	目標値 (25年度)	
①	パスワード登録者の割合(%)	27.3	29.4	31.1	31.5	35.0	パスワード登録者÷個人登録者数
②	インターネット予約の割合(%)	65.0	68.1	70.2	70.0	75.0	インターネット予約登録点数÷予約登録点数
③							

（問題点・課題 指標分析）	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット予約などのITサービスを実施しているが、さらにホームページを充実させるとともに、最新のIT技術について調査検討していく必要がある。 ・長期延滞対策等を強化し貸出等の運用見直しを区民に周知して実施する。
他区の実 施状況	（実施 22 区 未実施 0 区）

問題点・課題の改善策検討	
	平成23年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	図書館システム更新に向けた準備
②	ホームページなど情報発信の充実
③	

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
継続	継続	利用者の利便性向上を図り、先進的なITサービスを提供するため、必要性が高い。

議会 （要旨） 質問 状況	<p>平成12年二定 ・インターネットを活用した検索・予約システムの早期実現について</p> <p>平成14年三定 ・インターネット予約時の順番がわかるようにすることについて</p>
------------------------	---

事務事業分析シート（平成22年度）

No1

事務事業名	子ども読書活動推進計画事業	部課名	教育委員会南千住図書館	課長名	東山 忠史
		担当者名	水野 裕都	内線	436
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（22年度）	子ども読書活動推進計画事業費（01-02-05）				
事務事業の種類	新規事業（22年度 21年度）	建設事業	それ以外の継続事業		
開始年度	昭和 平成 18年度	根拠法令等	子どもの読書活動の推進に関する法律		
終期設定	有 無 22年度				
実施基準	法令基準内 都基準内 区独自基準	計画区分	計画	非計画	
行政評価事業体系	分野	子育て教育都市[]			
	政策	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成[04]			
	施策	図書館サービスの充実[04-13]			
目的	子どもたちの読書環境を整備し、自主的な読書活動を支援することにより、子どもたちが「本に親しむ」きっかけを増やす。				
対象者等	区民全体				
内容	<p>平成18年4月に策定された「荒川区子ども読書活動推進計画」に基づき、家庭・地域、学校、図書館が連携して以下のような事業を行う。</p> <p>【1 家庭での読書活動に対する支援と地域における読書環境の整備】 ブックスタート、おはなし会、出産を迎える方々への読み聞かせ講習会、ボランティア養成、団体貸し出しの充実、子ども読書活動推進PRの実施等</p> <p>【2 小・中学校における取り組み】 学校図書館との連携強化、学校図書館サポートボランティア養成講座、図書館職員による新小学一年生を対象にした学校訪問等</p> <p>【3 区立図書館における取り組み】 0歳から18歳までの子どもの発達段階に応じた読書活動を支援する。 ベビーベッドの設置、体験型おはなし会の実施、子ども読書の日記念講演会の実施、名作朗読会の実施、子ども読書活動推進事業・柳田邦男絵本大賞</p>				
経過	<p>平成13年12月 「子どもの読書活動の推進に関する法律」が公布・施行され、地方自治体においても「子ども読書活動推進計画」の策定に努めることと規定された。</p> <p>平成17年 7月 「（仮）荒川区子ども読書活動推進計画」検討委員会及び作業部会設置</p> <p>平成18年 2月 「荒川区子ども読書活動推進計画（素案）」策定 文教委員会報告及びパブリック・コメント実施</p> <p>平成18年 4月 「荒川区子ども読書活動推進計画」策定</p> <p>平成19年12月 「荒川区子ども読書活動推進計画」に基づき、第一回あらかわ子ども読書フェスティバル実施</p> <p>平成20年 7月 読書マラソン・第一回柳田邦男絵本大賞実施</p> <p>平成21年 1月 第二回あらかわ子ども読書フェスティバル実施</p> <p>平成22年 7月 第三回柳田邦男絵本大賞受付開始</p>				
必要性	子どもたちの読書離れの改善、読書力や国語力向上のため、必要である。				
実施方法	(1直営) (直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員)				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	
予算額	0	0	1,914	2,389	2,311	5,811	5,721	
決算額（22年度は見込み）	0	0	1,269	1,231	1,393	4,307	5,259	
人件費		0	3,705	3,598	6,008	8,318		
【事務分担量】（%）		0	60	85	95	212		
合計（+）	0	0	4,974	4,829	7,401	12,625	5,259	
国（特定財源）	0	0	0	0	0	0	0	
都（特定財源）	0	0	0	0	0	0	0	
その他（特定財源）	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源	0	0	4,974	4,829	7,401	12,625	5,259	
実績の推移	事項名	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	講演会（児童・10代）参加人数	-	-	211	136	86	41	100
	ボランティア養成講座参加人数	-	-	203	186	261	140	200
	講習会（読み聞かせ等）参加人数	-	-	14	25	22	24	30

事務事業分析シート（平成22年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成20年度（決算）		平成21年度（決算）		平成22年度（予算）	
		主な事項		主な事項		主な事項	
		金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）		
	報償費	講演会等講師謝礼	179	講演会等講師謝礼	391	講演会等講師謝礼	876
	一般需用費	消耗品費	679	消耗品費	2,642	消耗品費	3,309
		印刷製本費	416	印刷製本費	245	印刷製本費	1,311
	役員費	筆耕	95	筆耕	34	筆耕	38
		使用料及び賃借料	会場使用料	24	会場使用料	13	会場使用料
	備品購入費			備品購入費	983	備品購入費	97

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		19年度	20年度	21年度	22年度	目標値 (25年度)	
標	区立図書館における区内小学生の利用者登録率(%)	67.9	69.2	67.8	73.0	76.0	子ども読書活動の事業を展開し、8割近い登録をめざす。
	区立図書館における区内中学生の利用者登録率(%)	53.8	50.7	52.3	56.0	62.0	子ども読書活動の事業を展開し、7割近い登録をめざす。

（問題点・課題）	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度が「荒川区子ども読書活動推進計画」の最終年度にあたる。子どもの読書活動の環境整備がますます必要となっている状況を鑑みて、これまでの検証と、新たな計画の策定等検討する必要がある。 ・おはなし会や講演会などのイベントへの参加者募集の際、ポスター・チラシ・ホームページなど積極的な情報提供を行い、子どもたちに対し効果的な周知を図る必要がある。 ・子ども読書活動の意義を積極的にPRするため、4月23日の「子ども読書の日」や10月27日の「文字・活字文化の日」にちなんだ効果的な啓発活動を行う必要がある。 ・「荒川区子ども読書活動推進計画」に基づいた計画事業を円滑に進めるため、関係各課との連携をはかる必要がある。
他区の実況	<p style="text-align: center;">（実施 19 区 未実施 3 区）</p> <p>千代田、中央、港、新宿、台東、墨田、品川、目黒、大田、世田谷、渋谷、中野、杉並、豊島、北、板橋、練馬、足立、葛飾</p>

問題点・課題の改善策検討	
平成23年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
区内小中学校・学校図書館との連携強化	子どもの読書環境の整備と図書館利用の促進
ひろば館・ふれあい館等関係各課との連携による身近な場所でのサービスの提供	子どもの読書環境の整備と図書館利用の促進

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
重点的に推進	重点的に推進	子どもの読書離れの改善、国語力や読書力の向上のために、きわめて優先度の高い事業である。

議 会 要 旨 （ 問 題 状 ）	
---	--

事務事業分析シート（平成22年度）

No1

事務事業名	図書館の運営	部課名	教育委員会南千住図書館	課長名	東山 忠史
		担当者名	諫山 由紀子	内線	436
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード(22年度)	図書館事務費(01-03-01)				
事務事業の種類	新規事業(22年度 21年度)		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	年度	根拠	図書館法、文字・活字文化振興法、荒川区立図書館館則	
終期設定	有 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	子育て教育都市[]			
	政策	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成[04]			
	施策	図書館サービスの充実[04-13]			
目的	図書館の快適性を維持し、利用を促進するために、館の運営や利用促進に係る経費を計上する。				
対象者等	図書館利用者				
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 臨時職員雇上(夜間、土日、祝日、夏期月曜臨時開館、繁忙期等) ・ 事業に必要な消耗品(のりパネル等)、運営に必要な消耗品(蛍光灯、P R用紙、印刷機用インク等) ・ P R誌作成配付(図書館カレンダー、図書館利用案内) ・ C A T V料金 ・ 空気清浄機、印刷機保守 ・ 図書館のコピーサービス 				
経過	<p>昭和37年3月 現荒川図書館開館 昭和46年9月 尾久図書館開館 昭和48年4月 旧南千住図書館開館</p> <p>昭和53年11月 町屋図書館開館 昭和55年4月 日暮里図書館開館</p> <p>昭和56年4月 開館時間が9時半～19時半となる。本の貸出を一人5冊、15日間とする</p> <p>昭和63年4月 貸出冊数の制限撤廃</p> <p>平成4年5月 日暮里図書館に吉村昭コーナー設置</p> <p>平成4年7月 全館で日曜開館・月曜休館実施</p> <p>平成5年10月 図書館オンラインシステム一部稼動(尾久・町屋・日暮里図書館)</p> <p>平成6年4月 図書館オンラインシステム全館稼動</p> <p>平成8年5月 CD・カセットテープの貸出を5点15日間に変更</p> <p>平成10年5月 現南千住図書館開館。南千住図書館で祝日開館実施。ビデオテープの貸出開始(一人1点)</p> <p>平成10年9月 南千住図書館でB D Sシステム導入</p> <p>平成11年10月 ビデオテープの貸出点数を一人2点に拡大</p> <p>平成13年7月 インターネットによる検索・予約サービス開始。図書館ホームページ開設</p> <p>平成14年2月 携帯電話による検索・予約サービス開始</p> <p>平成14年9月 南千住図書館で無線LANコーナー設置</p> <p>平成15年4月 南千住図書館で月曜の祝日開館実施</p> <p>平成15年7月 全館で無線LANコーナー設置</p> <p>平成16年9月 吉村昭ミニコーナーを全館で開設</p> <p>平成17年4月 全館で祝日開館実施。南千住図書館の土曜開館時間を19時半まで延長</p> <p>平成19年9月 汐入図書サービスステーション開設</p> <p>平成21年10月 貸出冊数を一人30冊に変更。延滞者への貸出予約等停止措置の導入</p> <p>平成21年11月 冠新道図書サービスステーション開設</p>				
必要性	区民の読書推進と図書館利用の普及のため、今後も充実の必要がある。				
実施方法	(1直営) (直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員)				

予算・決算額等の推移	(単位:千円)							
	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	
予算額	19,149	18,766	18,616	17,917	17,558	17,516	16,125	
決算額(22年度は見込み)	18,161	17,516	16,345	16,760	16,457	16,458	15,898	
人件費		18,861	16,088	12,078	13,322	15,168		
【事務分担量】(%)		255	210	170	180	329		
合計(+)	18,161	36,377	32,433	28,838	29,779	31,626	15,898	
その他(特定財源)	1,210	1,215	1,043	911	1,066	1,018	1,079	
一般財源	16,951	35,162	31,390	27,927	28,713	30,608	14,819	
実績の推移	事項名	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	入館者数(人)	1,123,777	1,126,719	1,068,982	1,117,360	1,211,614	1,256,398	1,300,000
	個人総貸出点数(点)	1,667,445	1,675,071	1,672,802	1,703,343	1,818,212	1,927,377	2,000,000
	住基人口(翌年1月1日)	175,726	177,547	178,399	181,205	184,207	186,906	189,000

事務事業分析シート（平成22年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成20年度（決算）		平成21年度（決算）		平成22年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	一般賃金	臨時職員雇上	11,406	臨時職員雇上	11,406	臨時職員雇上	11,740
報償費	養成講座	206	養成講座	76			
職員旅費	近接地内旅費	26	近接地内旅費	28	近接地内旅費	31	
一般需用費	館運営消耗品印本	2,753	館運営消耗品印本	3,061	館運営消耗品印本	2,273	
役務費	CATV料金	109	CATV料金	109	CATV料金	109	
委託料	空気清浄機等保守	376	空気清浄機等保守	225	空気清浄機等保守	377	
使用料等	複写機賃借料等	1,500	複写機賃借料等	1,472	複写機賃借料等	1,508	
負担金等	日本図書館協会会費等	81	日本図書館協会会費等	81	日本図書館協会会費等	87	

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		19年度	20年度	21年度	22年度	目標値 (25年度)	
標	入館者一人当たりの経費 (円)	15.0	13.6	13.1	12.2	12.0	決算額 ÷ 入館者数
	区民一人当り総個人貸出点数 (点)	9.4	9.9	10.3	10.6	11.0	総個人貸出点数 ÷ 住基人口

（問題点・課題）	<p>・多様化するニーズに応え、充実した図書館サービスを提供するため、より利用しやすい運営形態等について検討を進める必要がある。</p>
他区の実況	（実施 22 区 未実施 区）

問題点・課題の改善策検討	
平成23年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
開館時間等についての検討	入館者数及び貸出点数の増加

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	推進	区民の学習活動の拠点施設である図書館の環境整備のため、優先度の高い事業である。

議（要旨）	
-------	--

事務事業分析シート（平成21年度）

No1

事務事業名	図書館非常勤職員	部課名	教育委員会南千住図書館	課長名	東山 忠史
		担当者名	諫山 由紀子	内線	436
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（22年度）	図書館非常勤関係費（01-03-02）				
事務事業の種類	新規事業（22年度 21年度）	建設事業		それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成 12年度	根拠法令等	荒川区非常勤職員規則、荒川区非常勤職員の勤務条件等に関する要綱、荒川区教育委員会事務局非常勤職員設置要綱		
終期設定	有 無 年度				
実施基準	法令基準内 都基準内 区独自基準	計画区分	計画	非計画	
行政評価事業体系	分野	子育て教育都市[]			
	政策	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成[04]			
	施策	図書館サービスの充実[04-13]			
目的	図書館勤務経験者や司書（司書補を含む）など幅広い図書に関する知識を持つ優秀な人材を非常勤職員（図書館事務嘱託員）として採用し、カウンター業務などの図書館運営全般に関わることにより、経費節減を図りながら、図書館のサービス向上につなげていく。				
対象者等	図書館利用者				
内容	非常勤職員報酬・社会保険料・旅費等の経費を計上 ・南千住図書館 非常勤職員26名配置 ・荒川図書館 非常勤職員13名配置 ・尾久図書館 非常勤職員13名配置 ・町屋図書館 非常勤職員13名配置 ・日暮里図書館 非常勤職員17名配置（平成22年4月1日現在）				
経過	・平成12年度 町屋図書館ではじめて導入、非常勤3名採用、常勤職員定数67（2） ・平成13年度 全館導入、非常勤職員定数18（+15）常勤職員定数57（10） ・平成14年度 非常勤職員定数33（+15）常勤職員定数47（10） ・平成15年度 非常勤職員定数42（+9）常勤職員定数41（6） ・平成16年度 非常勤職員定数57（+15）常勤職員定数31（10） ・平成17年度 非常勤職員定数66（+9）常勤職員定数25（6） ・平成18年度 非常勤職員定数66（±0）常勤職員定数25（±0） ・平成19年度 非常勤職員定数77（+13）常勤職員定数21（4） ・平成20年度 非常勤職員定数77（±0）常勤職員定数21（±0） ・平成21年度 非常勤職員定数81（+4）常勤職員定数21（±0） ・平成22年度 非常勤職員定数82（+1）常勤職員定数22（+1）				
必要性	図書館運営にコスト節減を図りながら図書館サービスを維持させるために、非常勤職員は不可欠である。				
実施方法	（1直営）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	
予算額	143,898	167,677	167,774	198,546	195,394	218,053	223,781	
決算額（22年度は見込み）	142,741	164,746	163,173	191,907	192,489	213,967	223,781	
人件費		21,707	22,079	23,396	24,481	29,088		
【事務分担量】（%）		780	765	822	830	910		
合計（+）	142,741	186,453	185,252	215,303	216,970	243,055	223,781	
国（特定財源）	0	0	0	0	0	0	0	
都（特定財源）	0	0	0	0	0	0	0	
その他（特定財源）	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源	142,741	164,746	163,173	191,907	192,489	213,967	223,781	
実績の推移	事項名	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	非常勤職員総数（人）	57	66	66	77	77	81	82
	非常勤職員数増（人）	15	9	0	11	0	4	1
	常勤職員数減（人）	10	6	0	4	0	0	1

事務事業分析シート（平成21年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成20年度（決算）		平成21年度（決算）		平成22年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	報酬	非常勤職員報酬	172,110	非常勤職員報酬	190,751	非常勤職員報酬	197,580
共済費	非常勤職員社会保険料	20,267	非常勤職員社会保険料	23,103	非常勤職員社会保険料	26,026	
特別旅費	非常勤職員旅費	112	非常勤職員旅費	113	非常勤職員旅費	175	

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		19年度	20年度	21年度	22年度	目標値 (25年度)	
	非常勤職員司書有資格者率（％）	80	86	87	87	90	司書・司書補有資格者数 ÷ 非常勤職員数

（問題点・課題）	・主任非常勤職員、上級非常勤職員を任用したが、職務の位置づけ及び今後の人事制度について引き続き検討していく必要がある。
他区の実況	（実施 18 区 未実施 4 区） 未実施区（千代田区、大田区、中野区、板橋区）

問題点・課題の改善策検討	
平成23年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
非常勤職員の人事評価制度や選書能力・資質の向上について検討していく。	職員の資質及び図書館サービスの向上

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
継続	継続	図書館サービスを支える非常勤職員の役割は重要であるため、必要性が高い。

議会議況（要旨）	
----------	--

事務事業分析シート（平成22年度）

No1

事務事業名	図書館施設の修繕	部課名	教育委員会南千住図書館	課長名	東山 忠史
		担当者名	諫山 由紀子	内線	436
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（22年度）	営繕費（一般）（01-04-01）				
事務事業の種類	○新規事業（○22年度 ○21年度）		○建設事業	●それ以外の継続事業	
開始年度	○昭和 ○平成	年度	根拠		
終期設定	○有 ●無	年度	法令等		
実施基準	○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準		計画区分	○計画	●非計画
行政評価事業体系	分野	子育て教育都市[Ⅱ]			
	政策	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成[04]			
	施策	図書館サービスの充実[04-13]			
目的	図書館施設の適切な維持管理を行い、利用者サービスの向上を図る。				
対象者等	図書館利用者				
内容	図書館施設の建物修繕経費を計上				
経過	平成21年度の主な修繕 ・南千住図書館 ベビーシート修繕、洗面台自動水栓修繕他 ・荒川図書館 揚水ポンプユニット修繕、外壁漏水部補修他 ・尾久図書館 空調設備修繕、ブラインド修繕他 ・町屋図書館 ガス管改修、空調機器修繕他 ・日暮里図書館 定水位弁改修、空気調和機修繕他				
必要性	建物の老朽化が進む中で、施設を維持するためには不可欠な経費である。				
実施方法	（2一部委託）（直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員）				
	・南千住図書館 ベビーシート修繕（株）フタバアイディ荒川営業所 21年度 ¥139,650 ・南千住図書館 洗面台自動水栓修繕（増渕工業株）21年度 ¥159,757 ・荒川図書館 揚水ポンプユニット修繕（株）門脇工務店 21年度 ¥496,650 ・荒川図書館 外壁漏水部補修（株）マクマ建装 21年度 ¥493,500 ・尾久図書館 空調設備修繕（志幸技研工業株）21年度 ¥197,400 ・尾久図書館 ブラインド修繕（有）カナザワ装飾 21年度 ¥278,985 ・町屋図書館 ガス管改修（東京瓦斯株）東部支店 21年度 ¥291,900 ・町屋図書館 空調機器修繕（光ビル管理株）21年度 ¥489,300 ・日暮里図書館 定水位弁改修（有）黒川設備工業 21年度 ¥277,200 ・日暮里図書館 空気調和機修繕（光ビル管理株）21年度 ¥299,250				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
		16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
予算額	6,748	6,578	6,488	6,418	7,347	7,355	7,365	
①決算額（22年度は見込み）	6,461	4,698	4,580	3,756	4,684	5,999	6,628	
②人件費		6,465	6,405	3,965	4,251	5,579		
【事務分担量】（%）		75	75	100	100	100		
合計（①+②）	6,461	11,163	10,985	7,721	8,935	11,578	6,628	
国（特定財源）	0	0	0	0	0	0	0	
都（特定財源）	0	0	0	0	0	0	0	
その他（特定財源）	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源	6,461	11,163	10,985	7,721	8,935	11,578	6,628	
実績の推移	事項名	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	全館修繕総件数(件)	53	51	50	39	42	56	60
	入館者数(人)	1,123,777	1,126,719	1,068,982	1,117,360	1,211,614	1,256,398	1,300,000

事務事業分析シート（平成22年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成20年度（決算）		平成21年度（決算）		平成22年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	一般需用費	南千住図書館	460	南千住図書館	582	南千住図書館	2,893
	荒川図書館	1,197	荒川図書館	2,211	荒川図書館	1,090	
	尾久図書館	1,007	尾久図書館	949	尾久図書館	1,124	
	町屋図書館	724	町屋図書館	1,196	町屋図書館	977	
	日暮里図書館	1,296	日暮里図書館	1,061	日暮里図書館	1,281	

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		19年度	20年度	21年度	22年度	目標値 (25年度)	
①	入館者一人当たりにかかる経費（円）	6	6	10	42	50	（営繕費の一般分+施設改修分）÷入館者数
②							
③							

（問題点・課題分析）	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の老朽化への対応及び計画的な修繕が必要である。
他区の実況	（実施 22 区 未実施 区）

問題点・課題の改善策検討		
	平成23年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
①	施設の修繕計画の検討	図書館利用者に対する快適な読書環境の整備
②		
③		

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
継続	継続	施設の老朽化が進み、施設の維持が必要なため、必要性が高い。

議（要旨）	
-------	--

事務事業分析シート（平成22年度）

No1

事務事業名	図書館施設の改修	部課名	教育委員会南千住図書館	課長名	東山 忠史
		担当者名	諫山 由紀子	内線	436
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（22年度）	営繕費（施設改修分）（01-04-02）				
事務事業の種類	○ 新規事業（○ 22年度 ○ 21年度）		○ 建設事業	● それ以外の継続事業	
開始年度	○ 昭和 ○ 平成	年度	根拠		
終期設定	○ 有 ● 無	年度	法令等		
実施基準	○ 法令基準内 ○ 都基準内 ● 区独自基準		計画区分	○ 計画	● 非計画
行政評価事業体系	分野	子育て教育都市[Ⅱ]			
	政策	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成[04]			
	施策	図書館サービスの充実[04-13]			
目的	図書館施設の適切な維持管理を行い、利用者サービスの向上を図る。				
対象者等	図書館利用者				
内容	図書館施設の施設改修等工事費を計上				
経過	平成21年度の工事件名 ・尾久図書館 屋根改修工事、下屋防水改修工事				
必要性	建物の老朽化が進む中で、施設を維持するためには不可欠な経費である。				
実施方法	（2一部委託）（直営の場合 ○ 常勤 ○ 非常勤 ○ 臨時職員） 営繕課に執行委任して工事実施 尾久図書館屋根改修工事（株）マクマ建装 21年度 ¥6,300,000 尾久図書館下屋防水改修工事（株）マクマ建装 21年度 ¥861,000				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	
予算額	3,930	2,963	18,132	3,066	2,777	9,234	47,576	
①決算額（22年度は見込み）	309	2,573	16,989	3,024	2,439	7,161	47,576	
②人件費		0	0	2,806	1,939	1,751		
【事務分担量】（%）		0	0	40	30	25		
合計（①+②）	309	2,573	16,989	5,830	4,378	8,912	47,576	
国（特定財源）	0	0	0	0	0	0	0	
都（特定財源）	0	0	0	0	0	0	0	
その他（特定財源）	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源	309	2,573	16,989	5,830	4,378	8,912	47,576	
実績の推移	事項名	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	全館改修工事件数(件)	1	1	3	2	1	2	5
	入館者数(人)	1,123,777	1,126,719	1,068,982	1,117,360	1,211,614	1,256,398	1,300,000

事務事業分析シート（平成22年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成20年度（決算）		平成21年度（決算）		平成22年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	工事請負費	荒川・変電設備その他改修工事	2,439		尾久・屋根改修工事 尾久・下屋防水改修工事	6,300 861	尾久・空調設備改修工事

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		19年度	20年度	21年度	22年度	目標値 (25年度)	
①	入館者一人当たりにかかる経費（円）	6	6	10	42	50	（営繕費の一般分+施設改修分）÷入館者数
②							
③							

（問題点・課題分析）	・施設の老朽化への対応及び計画的な修繕が必要である。
他区の実況	（実施 22 区 未実施 区）

問題点・課題の改善策検討		
	平成23年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
①	施設の改修計画の検討	図書館利用者に対する快適な読書環境の整備
②		
③		

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
継続	継続	施設の老朽化が進み、施設の維持が必要なため、必要性が高い。

議会議況（要旨）	
----------	--

事務事業分析シート（平成22年度）

No1

事務事業名	図書サービスステーション	部課名	教育委員会南千住図書館	課長名	東山 忠史
		担当者名	村木 一貴	内線	436
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（22年度）	図書サービスステーション管理運営費（01-05-01）				
事務事業の種類	新規事業（22年度 21年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	19 年度	根拠	荒川区立図書館図書サービスステーション運営要綱	
終期設定	有 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	子育て教育都市[]			
	政策	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成[04]			
	施策	図書館サービスの充実[04-13]			
目的	<ul style="list-style-type: none"> 近くに図書館が無いため、図書館サービスが行き届きにくいと思われる地域（汐入地域・西日暮里地域）に図書サービスステーションを設置し、図書館サービスに対する区民の利便性の向上を図る。 急増している子育て世代に対する子育て教育環境の整備（汐入地域） 				
対象者等	図書館利用者				
内容	1 名称 汐入図書サービスステーション 2 住所 荒川区南千住8-12-5-114 べるぼーと汐入東館1F 3 面積 68.85㎡ 4 開館日 平成19年9月8日 5 業務内容 利用者登録、検索、予約、貸出、返却 6 開館日時 火曜日～金曜日（9時30分～19時30分） 土日祝（9時30分～17時） 7 休館日 年末年始、月曜日、月1回の館内整理日 特別整理期間 8 蔵書冊数 図書7,485冊、雑誌399冊（H22年6月1日） 9 利用実績（H21年4月1日～22年3月31日） (1) 入館者数 148,438人（1日当たり503人） (2) 貸出者数 67,652人（1日当たり229人） 10 運営体制 南千住図書館の所管として運営			1 名称 冠新道図書サービスステーション 2 住所 荒川区西日暮里6-25-14 3 面積 181.44㎡ 4 開館日 平成21年11月14日 5 業務内容 利用者登録、検索、予約、貸出、返却 6 開館日時 火曜日～金曜日（9時30分～19時30分） 土日祝（9時30分～17時） 7 休館日 年末年始、月曜日、月1回の館内整理日 特別整理期間 8 蔵書冊数 図書7,765冊、雑誌307冊（H22年6月1日） 9 利用実績（H21年11月14日～22年3月31日） (1) 入館者数 17,426人（1日当たり166人） (2) 貸出者数 8,725人（1日当たり83人） 10 運営体制 日暮里図書館の所管として運営	
	経過	<ul style="list-style-type: none"> 「これからの図書館調査懇談会報告書」（平成18年4月）において提言を受けた。 「荒川区基本計画」（平成19年度～平成28年度）「図書サービスステーションの設置」を掲げる。 「あらかわ刷新プラン」（平成17年度～21年度）及び「荒川区実施計画」（平成19年度～平成22年度）において、平成19年度に「図書サービスステーションの設置」を掲げる。 			
必要性	近くに図書館が無いため、図書館サービスが行き届きにくい地域に図書館サービスを提供するため、必要性が高い事業である。				
実施方法	(1直営) (直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員)				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
		16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
予算額					25,594	22,447	48,879	21,973
決算額（22年度は見込み）					20,940	20,956	31,931	21,973
人件費					5,001	5,577	13,537	
【事務分担量】（%）					80	70	239	
合計（+）		0	0	0	25,941	26,533	45,468	21,973
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）								
一般財源		0	0	0	25,941	26,533	45,468	21,973
実績の推移	事項名	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	入館者数（人） 汐入				73,532	147,453	148,438	148,934
	冠新道						17,426	53,307
	個人貸出者数（人） 汐入				23,721	56,758	67,652	74,144
冠新道						8,725	26,690	

事務事業分析シート（平成22年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成20年度（決算）		平成21年度（決算）		平成22年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	一般賃金	臨時職員雇い上げ	1,186	臨時職員雇い上げ	1,659	臨時職員雇い上げ	2,413
光熱水費	電気料等	257	電気料等	389	電気料等	2,614	
一般需用費	図書その他消耗品等	4,154	図書その他消耗品等	9,206	図書その他消耗品等	4,072	
役務費	その他の通信運搬費等	221	その他の通信運搬費等	1,106	その他の通信運搬費等	2,337	
委託料	図書館システム保守等	1,135	図書館システム保守等	3,923	図書館システム保守等	1,996	
使用料賃借料	建物賃借料	2,553	建物賃借料	8,753	建物賃借料	8,539	
備品購入費	システム機器、書架等	1,014	システム機器、書架等	4,963	システム機器、書架等	0	

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		19年度	20年度	21年度	22年度	目標値 (25年度)	
標	汐入個人貸出者数（人）	23,721	56,758	67,652	74,144	81,558	
	冠新道個人貸出者数（人）	-	-	8,725	26,690	30,897	

（問題点・課題 指標分析）	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数の増加を踏まえ、図書の一層の充実が必要であるが、現在の施設の面積では、これ以上図書を増やすことができないため、施設の増床、書架の配置等について検討が必要である（汐入図書SS）。 ・商業施設や商店街の中にあるという立地上、買い物途中に利用される方や、子ども連れの利用者が多いため、このような方のニーズにあったサービスを提供していく必要がある。
他区の実況	<p style="text-align: center;">（実施 6 区 未実施 16 区）</p> <p>（分室等）千代田区、文京区、台東区、渋谷区、足立区、江戸川区</p>

問題点・課題の改善策検討	
平成23年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
利用者の図書のニーズの把握・分析	区民に対する図書館サービスの充実
立地状況を踏まえたサービスの向上	区民に対する図書館サービスの充実

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	推進	区民の身近な場所で図書館サービスを提供するため、優先度の高い事業である。

議会議決 （要旨） 状況	
--------------------	--